

港 湾 編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
11 港 湾 編					浚 渫 工	水 深 (底 面)	+0mm	
						(法 面)	+0mm	
					床 掘 工	水 深 (底 面)	±300mm	
						(法 面)	-0mm	
					基 礎 工	基 準 高 (天 端)	本 均 し	±50mm
						荒 均 し	I	±300mm
						II	±100mm	
						III	±500mm	
				幅 (天 端)		-100mm		
				延 長		-100mm		

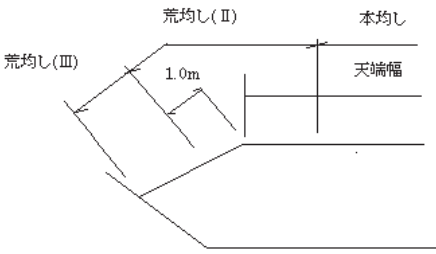
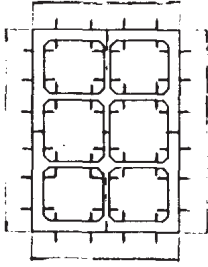
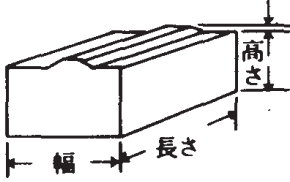
単位：mm

測定基準	測定箇所	摘要
<p>各測点ごと。 測定間隔は 20m 程度を標準とする。 原則として音響測探機による。</p>		<p>構造物前面附近及び暫定浚渫の水深・区域の規格値は特記仕様書による。</p>
<p>浚渫工と同じ要領。</p>	<p>浚渫工と同じ要領。</p>	<p>構造物附近の規格値は特記仕様書による。</p>
<p>各測点ごと。 ケーソン等大型構造物は、各函ごと。</p>		<p>基準高は余盛沈下等を考慮した施工計画面とする。 本均し： ケーソン方塊等据付 荒均し(Ⅰ)： 異形ブロック整積 荒均し(Ⅱ)： 岸壁前面 荒均し(Ⅲ)： 異形ブロック乱積及び捨石先行 根止め捨石は捨石均しと同じ。</p>

出来形管理基準及び規格値

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値		
11 港湾編					被 覆 工 (被覆捨石均し)	基準高 (天端)	I	±300mm	
							II	±100mm	
							III	±500mm	
						端 (天端)		-200mm	
						延	長	-200mm	
						ケーソン製作工	壁	厚	±10mm
								幅	+30mm -10mm
							高	さ	+30mm -10mm
							長	さ	+30mm -10mm
						L型セルラーブロック製作	壁	厚	±10mm
								幅	+20mm -10mm
							高	さ	+20mm -10mm
							長	さ	+20mm -10mm
						方塊・異形ブロック製作		幅	+20mm -10mm
							高	さ	+20mm -10mm
							長	さ	+20mm -10mm

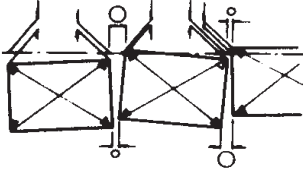
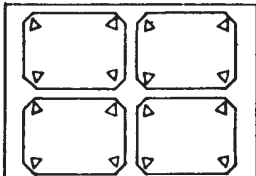
単位：mm

測定基準	測定箇所	摘要
各測点ごと。		<p>(I): 異形ブロック (II): 岸壁前面 (III): 通常及び異形ブロック乱積</p>
<p>各函、各段ごと。 長さ、幅は両辺と中間部。 高さは4隅と中間部。 壁厚は各壁辺2ヶ所。</p>		
各函ごと。	ケーソン製作と同じ要領。	
製作個数の1割以上。		<p>異形ブロックの測定個所は監督員の指示による。</p>

出来形管理基準及び規格値

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値				
11 港 湾 編					ケーソン 進水据付工 岸壁 防波堤	基準高	防波堤	摘要参照				
							岸壁					
						法線出入	防波堤	+300 (※+200)mm -300 (※-200)mm				
							岸壁	+150 (※+100)mm -150 (※-100)mm				
						目地間隔	防波堤	300 (※200)mm 以下				
							岸壁	200 (※100)mm 以下				
									L型セルラーブロック 据付	基 準 高		
										法 線 出 入		±50mm
										目 地 間 隔		50mm 以下
									方塊、直立消波ブロック 据付	基 準 高		
										法 線 出 入		±50mm
										目 地 間 隔		30mm 以下
				ケーソン中詰 蓋コンクリート	基 準 高		陸上±30mm 水中±50mm					
					厚 さ		-0mm					

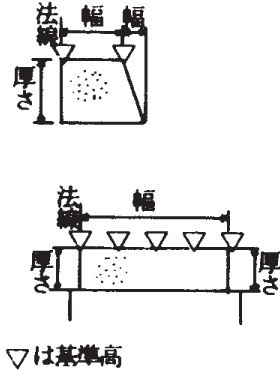
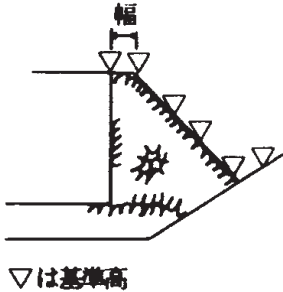
単位：mm

測定基準	測定箇所	摘要
各函ごと。	 <p>△は、基準高 ↔は、法線出入 ○は、目地間隔</p>	<p>基準高は余盛沈下等を考慮した施工計画とする。 据付とは注水完了し、完全着函した時をいう。</p> <p>(注) ※はケーソン質量2,000t未満の場合</p>
各函ごと。	ケーソン据付と同じ要領。	基準高はケーソン据付と同じ。
各測点ごと又は各ブロックごと。	ケーソン据付と同じ要領。	基準高はケーソン据付と同じ。
各函、各柵ごと	 <p>△は基準高</p>	基準高は据付後のケーソン天端高とする。

出来形管理基準及び規格値

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値					
11 港 湾 編					上 部 工 防 波 堤 岸 壁	基 準 高	防 波 堤	+50(※+20) -20mm					
							岸 壁	±20mm					
						厚 さ	防 波 堤	-20mm					
							岸 壁	-20mm					
						幅 (天 端)	防 波 堤	+50(※+30) -30mm					
							岸 壁	±20mm					
						法 線 出 入	防 波 堤	±50mm					
							岸 壁	±30mm					
						延 長		-0mm					
										裏 込 工	基 準 高	均 し	±200mm
												本 均 し	±50mm
											幅 (天 端)		-100mm
	法 面		(均し) ±200mm										
	延 長		-100mm										
					埋 立 工						不 陸	ポ ン プ 船	±600mm
						陸 上 機 械	±300mm						
						整 地	±100mm						

単位：mm

測定基準	測定箇所	摘要
各測点又は各区間（スパン、各函）ごと。	 <p>▽は基準高</p>	(注) ※は幅10m以下の場合
各測点ごと。	 <p>▽は基準高</p>	
各測点ごと。		

出来形管理基準及び規格値

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値						
11 港 湾 編					鋼 矢 板 工	基 準 高	±100mm						
						法 線 出 入	±100mm						
						延 長	+矢板 1 枚幅 -0mm						
										鋼 杭 工	基 準 高	±50mm	
											杭 頭 中 心 位 置	100mm 以下	
											杭 の 傾 斜	直 杭	2° 以下
												斜 杭	3° 以下

単位：mm

測定基準	測定箇所	摘要
20枚に1ヶ所（枚）及び変化点で測定		
全数測定		